

保護者の皆様へ

見能林小学校長 竹治 直樹

教育活動に関する保護者アンケートについて（結果報告とお礼）

本校の「教育活動に関するアンケート調査」をお願いしましたところ、おかげさまで97%のご回答をいただくことができました。結果をご報告いたします。

1 肯定的回答のポイントが高かったもの（「できている」「だいたいできている」の合計が70%以上）

- ①お子さんは、楽しい学校生活を送っている。（82%） 昨年度比 +2ポイント
- ②お子さんは、人を思いやる心や自然を大切にする豊かな心が育っている。（79%） 昨年度比 -1ポイント
- ③家庭では、お子さんとよく話をしている。（83%） 昨年度比 +1ポイント
- ④学校は、子どものがんばりを認め、よさを伸ばそうとしている。（72%） 昨年度比 +3ポイント
- ⑤学校は、子どもの生命・安全を守るための安全教育や防災教育に取り組んでいる。（72%） 昨年度比 +1ポイント

2 肯定的回答のポイントが低かったもの（「できている」「だいたいできている」の合計が60%以下）

- ①お子さんは、家庭でよく読書をしている。（28%） 昨年度比 -3ポイント
- ②お子さんは、学校以外でも感染症や熱中症を予防する行動ができている。（56%） 昨年度比 -2ポイント
- ③家庭では、インターネット（SNSやスマホ）やゲームなど、使い方やルールをきめている。（55%） 昨年度と同率
- ④家庭では、学習習慣が身につくよう努めている。（58%） 昨年度と同率
- ⑤学校の教育活動やPTA活動に進んで参加している。（36%） 新設

3 考察

5択回答による結果は、「どちらでもない」の回答割合も一定数ありましたが、70%を上回る高評価は、20項目中7項目でした。どの項目も昨年度と比べて大きな変動はありませんでした。

肯定的回答のポイントが特に高かった項目は、「お子さんは、楽しい学校生活を送っている」と「家庭では、お子さんとよく話をしている」でした。ご家庭でお子さんとしっかりとコミュニケーションを取り、学校での楽しかったことなどを聞いてくださっている保護者が多いのだろうと推察されます。学校としては、それが何よりありがたいことだと感謝しております。

主な課題としては、昨年度と同様に「読書習慣の定着」、「インターネットやゲームの使い方」、「家庭学習習慣の定着」が挙げられます。読書を通して想像力や語彙力を獲得できること、またインターネットやゲームのやりすぎが学業不振を招くことは、科学的に証明されています。インターネットの誤った使い方により人間関係を悪化させたり、犯罪に巻き込まれたりすることもあります。今は、お子さんの大切な心身の成長期です。インターネットやゲームの時間を最小限にし、家庭での読書や学習、家族とのコミュニケーションの時間に充てていただけることを願います。

また今年度、「学校の教育活動やPTA活動に進んで参加している」という質問項目を新設させていただきました。回答結果は36%と芳しくありませんでした。ますます家庭や地域と連携を図り、教育活動を実りあるものにしていきたいと思っておりますので、今後とも、学校教育活動やPTA活動へのご理解とご協力をよろしく願います。

アンケートの結果から明らかとなった教育活動の成果と課題を真摯に受け止め、次年度の教育活動に活かしていきたいと思っております。アンケートへのご協力、ありがとうございました。